

レジリエンス研究教育推進コンソーシアム第1回総会議事要旨

- 1 日時 平成30年3月9日(金) 10時50分～12時00分
- 2 場所 嘉ノ雅 茗溪館 大ホール「茗溪」(茗荷谷駅徒歩1分)
- 3 出席者 林(防災科学技術研究所、会長)、甘利(セコム、副会長)、清水(筑波大学、副会長)、佐波(大日本印刷)、柳生(日本電気)、長瀬(DRI ジャパン)、星川(電力中央研究所、代理：高橋)、中島(電子航法研究所)、緒方(産業技術総合研究所)、池田(労働安全衛生総合研究所)、遠藤(筑波大学)
陪席者 平岡(セコム)、山本(電力中央研究所)、内田(日本自動車研究所)、本下(産業技術総合研究所)、藤原、阿部、内藤(防災科学技術研究所)、岡部(労働安全衛生総合研究所)、伊藤、石濱(筑波大学)
その他 糸井川、イリチュ、西出、石塚、古谷、大塚、外山、清水、松原(筑波大学)

4 議事

議事に先立ち、遠藤委員から、開会の辞が述べられ、引き続き永田筑波大学長から本コンソーシアムに対する抱負などが述べられた。

続いて、本コンソーシアム総会委員から自己紹介があった。

【審議】

(1) レジリエンス研究教育推進コンソーシアム会長・副会長の選出について

遠藤委員から、資料2のレジリエンス研究教育推進コンソーシアム規約(以下、規約)第7条に基づき、会長・副会長の選出について説明があり、次のとおり選出があり承認された。

会 長 林委員(防災科学技術研究所)

副会長 清水委員(筑波大学)、甘利委員(セコム)

(2) レジリエンス研究教育推進コンソーシアム幹事会委員の選出について

遠藤委員から、資料2の規約第10条に基づき、幹事会委員の選出について説明があり、次のとおり選出があり承認された。

林委員(防災科学技術研究所)

清水委員(筑波大学)

甘利委員(セコム)

遠藤委員(筑波大学)

(3) 幹事会への付託事項について

会長から、資料2の規約第8条第5項第4号に基づき、協働大学院教員・非常勤講師の推薦、および教育研究新領域の提案については、総会から幹事会への付託事項とする旨の提案があり、承認された。

(4) その他

なし

【報告】

(1) レジリエンス研究教育推進コンソーシアムについて

会長から、資料2の規約第3条に基づき、コンソーシアムの活動内容について説明があった。

(2) リスク・レジリエンス工学学位プログラムについて

○参画機関の役割について

遠藤委員から、資料3、4に基づき、参画機関の主な役割について次の説明があった。

- ・ 協働大学院教員、非常勤講師の推薦について
- ・ 授業の実施時期と形態について
- ・ 主指導教員、副指導教員について
- ・ 各種委員会の委員について
- ・ インターンシップの実施について

ほか

○担当教員について

遠藤委員から、資料3、5に基づき、非常勤講師及び協働大学院教員の任用に係るスケジュール等について説明があった。

○カリキュラムについて

遠藤委員から、資料6に基づき、学位プログラムとして予定しているカリキュラム案について、参画機関が実施する予定の科目の説明があった。

○入試について

遠藤委員から、資料5に基づき、平成31年度入試のスケジュール等について説明があり、併せて、平成31年度入試については、協働大学院教員の任用手続きの時期の関係から、現行のリスク工学専攻の専任教員により責任をもって実施する旨の説明があった。

(3) 学位プログラムの設置について

遠藤委員から、資料5に基づき、本コンソーシアムが基盤となる協働大学院方式の学位プログラムの設置計画について説明があった。

(4) その他

遠藤委員から、次のとおり説明があった。

- ・ 本総会は、基本的には2か月ごとに開催する予定。開催場所は、つくばと東京で交互に開催することも検討する。開催場所を提供可能な参画機関があれば、その機関にて開催することも検討する。
- ・ 幹事会は必要に応じて逐次開催し、その内容は総会にて説明・報告する。

以 上